

全30卷  
(明治39年  
〜昭和16年版)

# 朝鮮總督府 施政年報

クレス出版



# 刊行にあたって

近代日朝関係史研究はこれまで多くの成果を生んできたが、植民地支配の実状に関するまとまった研究はそれほど多くない。その理由はいくつか考えられるが、最大の障害は、朝鮮総督府文書が利用できないことであろう。それ故研究者は、総督府様々な刊行物、あるいは「斎藤実関係文書」のような私文書に依拠せざるを得ないのが現状である。今回刊行の「朝鮮総督府施政年報」は、こうした近代日朝関係史研究に資するために計画された。いうまでもなく本書は朝鮮総督府が年次を追って施政の概要を示したもので、日本の朝鮮支配研究の基礎史料の一つである。

すなわち「朝鮮総督府施政年報」は、明治三十九年韓国統監府が設置されて以来、明治四三年の日韓併合をへて昭和一六年版まで刊行された日本の朝鮮統治の年次報告書である。統監府時代は「韓国施政年報」として三冊が、併合後は総督府総督官房の手によって「朝鮮総督府施政年報」として二九冊刊行された。その内容は年次によって多少の相違はあるが、おおむね次のようなものであった。即ち中央行政、地方行政、司法、治安、財政、金融、官業、土木、交通、貿易、農業、商工業、林業、交通、衛生、教育の各分野を網羅している。各項目の記述は簡潔であるが、全巻を通読すれば、日本の朝鮮支配の変遷が見事に浮かび上がってくる。こうした点で、本書は総督府の各種刊行物、たとえば「施政二〇年史」(朝鮮総督府)等を検討するための史料として有効であろう。

なお、刊行するにあたり四六倍判をA5判に縮小し、合本して全30巻とした。また最終巻には、解題・歴代総督関係文書目録(広瀬順皓著)を付すことになりました。

## 内容例(明治四十三年版目次より)

<p><b>第一章 総説</b></p> <p>緒論／併合始末(併合ノ理由／併合ニ関スル條約及詔勅／併合ニ関スル總督ノ諭告及訓令／旧韓国皇室ノ礼遇／朝鮮臣民ノ取扱／外国人ノ位置)／總督府ノ設置／経費</p> <p><b>第二章 中央行政</b></p> <p>總督府及所属官署ノ組織／諮問機関ノ設置／法制事項／外国人関係(領事官及外国人ノ従来／外国人居留地／外国人ノ既得権／外国人経営ノ新聞／国境ノ在外朝鮮人ノ布教ノ自由)／土地調査ノ旧慣調査／總督府官報</p> <p><b>第三章 地方行政</b></p> <p>行政機関ノ統一／道庁／府郡庁／居留民団ノ面ノ地方庁費／地方費／府郡臨時恩賜金／地方人民ノ生活状況</p> <p><b>第四章 賑恤</b></p> <p>罹災救助ノ暴徒被害ニ対スル救恤ノ褒賞及賑恤ニ関スル臨時恩賜金ノ社還米制度ノ京城孤兒院</p> <p><b>第五章 司法</b></p> <p>裁判所ノ既決例ノ監獄ノ大赦ノ領事裁判權ノ消滅</p> <p><b>第六章 治安</b></p> <p>防備ノ警務機関ノ統一／時局ニ対スル措置ノ海上警備ノ賊徒鎮定ノ集會結社</p>	<p><b>第七章 財政</b></p> <p>明治四十四年度予算ノ徵稅機關ノ地稅ノ賦屯土ノ戸稅ノ家屋稅ノ酒稅ノ煙草稅ノ塩稅ノ鈹稅ノ關稅ノ印紙收入ノ官業及官有財産收入ノ公債ノ補充金ノ財源調査ノ金庫</p> <p><b>第八章 金融</b></p> <p>貨幣整理ノ完結ノ硬貨ノ銀行券ノ朝鮮銀行ノ手形交換所ノ農工銀行ノ地方金融組合ノ手形組合ノ地方倉庫ノ普通銀行(内地人銀行ノ朝鮮人銀行)</p> <p><b>第九章 官業</b></p> <p>鑛業ノ塩業ノ平壤鈹業所ノ營林廠ノ印刷局ノ營繕ノ煉瓦及土管工場</p> <p><b>第十章 交通</b></p> <p>道路ノ鐵道運輸ノ鐵道建設及改良工事ノ軌道及輕便鐵道ノ閔釜連絡航路ノ水運ノ通信機關ノ郵便ノ電信ノ嶠釜間海底電信線ノ買収ノ無線電信ノ電話ノ觀測ノ航路標識ノ電氣事業ノ取締</p> <p><b>第十一章 貿易</b></p> <p>貿易額ノ膨脹ノ国別貿易ノ港別貿易ノ金銀輸移出入ノ船舶ノ關稅行政ノ稅關工事ノ擴張(釜山港、仁川港、鎮南浦港、海陸連絡設備計画ノ平壤水陸連絡設備計画ノ釜山整平工事)ノ新義州ノ開港</p>	<p><b>第十二章 農業</b></p> <p>農産物ノ通増ノ耕地ノ国有未墾地ノ水利施設(沃溝西部、臨盆、密陽、連山全益、臨盆南部水利組合)ノ種苗配付、勸業模範場(水原本場ノ大邱及平壤支場ノ龍山支場ノ靈島支場)ノ種苗場ノ棉花栽培ノ蚕業ノ改良及奨励ノ畜産ノ東洋拓殖株式会社ノ朝鮮農會</p> <p><b>第十三章 商工業</b></p> <p>會社令ノ博覽會及共進會ノ工業伝習補助ノ機業巡回教授ノ特許ノ度量衡</p> <p><b>第十四章 鉱業林業及水産業</b></p> <p>鈹産物ノ増加ノ鈹業出願及許可ノ林籍調査ノ殖林ノ森林保護ノ漁業許可ノ水産業ノ保護奨励ノ内地漁民ノ移住</p> <p><b>第十五章 衛生</b></p> <p>衛生行政ノ虎列刺予防ノペスト予防ノ種痘ノ朝鮮總督府醫院ノ慈惠醫院ノ警察医ノ増加ノ市街除穢施設ノ水道ノ京城水道ノ買収</p> <p><b>第十六章 教育</b></p> <p>教育行政ノ統一ノ普通学校ノ高等程度諸学校ノ農林学校ノ工業伝習所ノ実業学校ノ私立学校ノ教科用圖書ノ留學生ノ内地人ノ教育</p>	<p><b>附録</b></p> <p>併合ニ関スル詔書條約並諸法令</p>
---	---	--	--



中樞院正副議長顧問及參議

# 朝鮮總督府施政年報

全30卷

揃定価三九一、四〇〇円  
(本体三八〇、〇〇〇円)

★第二回配本

(平成三年八月二三日刊)

① 明治39・40年版

② 明治41・42年版

③ 明治43年版

④ 明治44年版

⑤ 明治45・大正元年版

⑥ 大正2・3年版

⑦ 大正4年版

⑧ 大正5年版

⑨ 大正6年版

全九卷揃定価九九、九一〇円

(本体九七、〇〇〇円)

★第一回配本

(平成三年四月二五日刊)

⑩ 大正7・9年版

⑪ 大正10年版

⑫ 大正11年版

⑬ 大正12年版

⑭ 大正13年版

⑮ 大正14年版

⑯ 大正15・昭和元年版

全七卷揃定価八五、四九〇円

(本体八三、〇〇〇円)

★第三回配本

(平成三年十二月一六日刊)

⑰ 昭和2年版

⑱ 昭和3年版

⑲ 昭和4年版

⑳ 昭和5年版

㉑ 昭和6・7年版

㉒ 昭和8年版

㉓ 昭和9年版

全七卷揃定価九二、七〇〇円

(本体九〇、〇〇〇円)

★第四回配本

(平成四年三月一〇日刊)

㉔ 昭和10年版

㉕ 昭和11年版

㉖ 昭和12年版

㉗ 昭和13年版

㉘ 昭和14年版

㉙ 昭和15年版

㉚ 昭和16年版、解題・

歴代総督関係文書目録

全七卷揃定価一一三、三〇〇円

(本体一一〇、〇〇〇円)

株式会社 **フレックス出版**

〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 ヌローナ日本橋  
☎03(3808)1821 FAX03(3808)1822